

スタンドパイプ取扱訓練

消火用ボックスや結成時に配布した防災資器材庫などに収納されているスタンドパイプですが、いざという時に使えるよう訓練しておくことが重要です。

ねらい

消火栓に専用の器具（スタンドパイプ）を接続し、消火栓の圧力を利用して放水する技術を習得します。

必要なもの

（参加人員30名程度の目安）

（品目）	（数量）
スタンドパイプ（50ミリの媒介を付ける）	1
消火栓キー	1
50ミリホース	2～必要数
ノズル（筒先）	1
標的（必要に応じてボールを落とす的など）	必要数
消火栓（※訓練には消防職員の立会いが必要です。）	



ワンポイントアドバイス

女性だけで放水することも可能ですので、ぜひ訓練参加者全員に放水体験をしていただきましょう。（事故防止には十分注意しましょう）

訓練の進め方

①事前準備

- 使用する消火栓を確認する。
（消防職員と相談し、使用する消火栓を決めましょう。水道局にも事前連絡が必要です。また、スタンドパイプは、基本的には消火栓のある場所であれば使用できます。）
- スタンドパイプやホースなどの保管場所を把握する。
- ノズルやホースの延ばし方、つなぎ方、はずし方を学ぶ。
- スタンドパイプの接続方法、消火栓キーの使用方法を学ぶ。

はずれないよう確実につなぐ



ワンポイントアドバイス

消火栓の放水圧はどのぐらい？

→神戸市ではだいたい0.3MPa～0.6MPaぐらい、平均すれば0.46MPaとされています。

※イメージがわきにくいかと思いますが、初期消火には十分な水圧があります。

消火栓は、道路上にあることが多く、訓練時は必ず安全管理者を置くようにしましょう！

②訓練実施

- ・4人で一組になり、指揮者、放水員、放水補助員、消火栓キー操作員に分かれホースを延ばし放水体勢を取ります。(最初は水を出さないようにしてください。)
- ・必要に応じて水を出さない訓練を何度か実施します。
- ・実際に放水を実施します。(女性や子供の場合は人数を調整してください。)
- ・10秒程度放水(的に命中)すれば、次のグループと交代します。
- ・放水時、安全のため消火栓キーは徐々に操作しましょう。
- ・役割を交代して再度放水訓練を実施します。

①消火栓を開く。 ②スタンドパイプを ③ホース・ノズルを ④消火栓キーを回す。 ⑤放 水
接続する。 繋ぐ。



※放水時の反動に充分注意し、絶対にノズルを放してはいけません。ノズルを放すと大ケガになることがあります。必ずスタッフが放水員の補助につきましよう。

参加者の方へ・・・

- ☆ホースの長さは1本20メートルです。ホースをつなぎ合わせることによって、水源から遠いところまで放水することができます。
- ☆遠くなったり、エンジンの音などで、放水するタイミングも声では届きません。「放水はじめ」「放水やめ」のジェスチャーも覚えておくと役に立ちます。

※この合図は全国で同じ合図になっています。(右図参照)

- ☆普段から資機材を点検し、近くの消火栓の位置を確認しておきましょう。

